

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1009

社会福祉協議会支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	1	地域福祉の推進
取組方針	1	地域での生活を支えるサービス・活動の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		社会事業費	
	大事業		社会事業	
	中事業		社会福祉協議会支援事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	社会福祉法第109条		関連課	
			担当課・担当課長・Tel	高齢者・地域福祉課 奥野 章 435-1063

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山市社会福祉協議会に対し補助を行い、社会福祉及び地域福祉の推進を図る。		社会福祉、地域福祉推進の中核として、各種福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援などを行うことにより、「誰もが住み慣れた地域で暮らせる福祉のまちづくり」ができる状態へとする。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		和歌山市社会福祉協議会に対し、人件費を補助した。	和歌山市社会福祉協議会に対し、人件費を補助した。	和歌山市社会福祉協議会に対し、人件費を補助した。	和歌山市社会福祉協議会に対し、人件費を補助する。	和歌山市社会福祉協議会に対し、人件費を補助する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	39,017	36,338	24,844	24,168	25,160	23,832	24,883	0	24,883	0
伸び率(%)	△43.7%	△44.2%	△36.3%	△33.5%	1.3%	△1.4%	△1.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,289	1,289	1,274	1,274	1,474	1,397	1,474	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,289	1,289	1,274	1,274	1,474	1,397	1,474	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	39,017	36,338	24,844	24,168	25,160	23,832	24,883	0	24,883	0
所要人数 (人)	正規職員	0.16	0.16	0.16	0.16	0.19	0.18	0.19	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	社会福祉協議会補助金 25,160千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	打合せ回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	社会福祉協議会ボランティア登録者数	人	目標値	2800	2800	2800	2800	2800
			実績値	1793	1735	1267		
			達成度(%)	64.0%	62.0%	45.3%	%	%
	ふれあい・いきいきサロンの開催	地区	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	15	11	10		
			達成度(%)	107.1%	78.6%	71.4%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>少子高齢化が進み、和歌山市でも高齢者の人口が10万人を超え（全体の30.8%）、社会保障関係費が増加傾向するなか、「公助」はもとより、近隣が互いに助け合って地域を守る「共助」がますます重要となっている。地域福祉の推進は、市としても充実させていかなければならず、市と社会福祉協議会の連携は今後も重要であるため、本事業をより充実・継続して進めていきたい。しかし、一方で行財政改革等により、補助金交付団体の財政的自立が求められているため、コスト投入については慎重に考えていくこととする。</p>
見直し・改善内容	<p>和歌山市社会福祉協議会は、市社協としての地域福祉推進の理念や目標、取り組みの方向性などを明確にし、地域住民と各種団体との連携による活動の促進を目指すため、5年ごとに地域福祉活動計画の策定を行っている。市の地域福祉計画と、地域福祉推進の両輪として、地域福祉の推進を目的とする事業の充実を図り、近隣が互いに助け合って地域を守る「共助」の強化を進めていく。</p>